

朝日新聞

2021年(令和3年)

4月2日

金曜日 夕刊

スポーツ 8
小説 7 円・株 8
NEWS+α 9
社会・総合 11
社会 10
TV・ラジオ 8.9.12

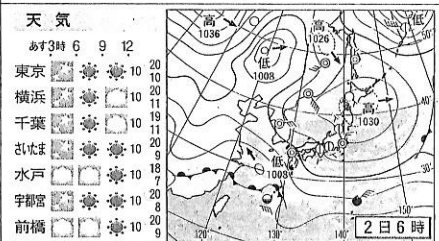
朝日新聞東京本社
〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
電話 03-3545-0131 www.asahi.com

ミュージアム講座 聴くを超えて愛唱される抒情歌
第21回 飯田三郎の抒情歌
講師:長田院二(音楽文化研究家) ゲスト:大津美子
4月10日(土) 14時開演 入場料 2,000円(前売座席)
出古賀政男音楽博物館 東京都港区上野3-6-12
代々木上野公園より徒歩3分 予約 03-3460-9051

次は 天空の島「ラプータ」へ

柴田元幸さんの新訳による連載「ガリバー旅行記」が第3部に突入。巨人の国での苦難にも懲りずガリバーは再び海へ。待ち受けていたのは、天空に浮かぶ島「ラプータ」で暮らす、きてつたな々との出会いだった。

◎ 今、気になる言葉たち
まふ防 期待のリリフ。
先発・緊急事態宣言より持ち球が少なく、実力は未知数。こども庁 デジタル庁、携帯料金値下げに続く「第3の目玉」。衆院選前に唐突に「K」字回復 製造業の景況感に右肩上がり。宿泊・飲食サービスは厳しさを増し。心の耐力 コロナ禍に負けない。センバツ優勝・東海大相模を鼓舞した監督の言葉。



3(土)	4(日)	5(月)	6(火)	7(水)	8(木)
札幌 5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30
仙台 5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30
東京 5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30
新潟 5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30
名古屋 5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30
京都 5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30
福岡 5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30	5 10 15 20 25 30

右目は見えない 視力0.01の左目と 囲碁棋士めざす



晴都さんは2009年10月、1歳2カ月で小児急性リンパ性白血病を発症した。投薬による化学療法では治らず、11年3月に再発。父の誠さん(50)から骨髓提供を受けて移植するも、12年11月に再々発した。医師から生存率20%と宣告されたが、腫瘍血移植を経て危地を脱した。

乳児期から入退院を繰り返した腫瘍の副作用の一つが、目に表れた。視界がぼやけ、やがて視力のほとんどを失った。

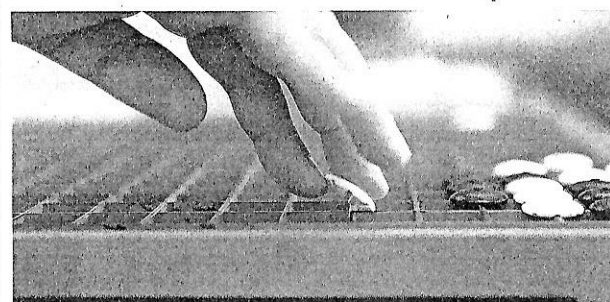
囲碁との出会いは盲学校小学部2年のとき。近くに

12歳、今月から日本棋院のプロ候補生に

さいたま市の岩崎晴都さん(12)の右目は、ほぼ見えない。視力0.01の弱視の左目で囲碁を打つ。4月に日本棋院東京本院のプロ候補生、院生になった。視覚障害者の院生は前例がなく、棋院は視覚障害者の特別仕様の碁盤を入れて迎えた。競争相手の院生は約50人。東京本院で年間最大3枠のプロの狭き門に挑む。

(大出公二)

集中力が突出「井山さんと打ちたい」



視覚障害者用の碁盤。盤の凸状の線の交点に、裏が凹状の石をはめ込む

住む祖父が自宅1階を碁会所として貸していた。「黒石と白石の違いなら見てわかる」と思っていた。毎日通い、おもしろかったと晴都さん。大好きだった「きかんしゃトーマス」そっちのけでめり込んだ。

小5の1昨年、アマチュア強豪の曾我部敏行さん(69)が経営する碁会所に入門。曾我部さんの指導で碁力は一気に伸びた。毎日通い、入門7カ月でアマ初段から六段に。「すごい子がいる」という話は日本棋院の信田成六段(69)につながり、指導を受けるように

なつた。「才能はもろろん、集中力が突出している」と信田六段。最初はあんなに味方する碁石を4個置いたら、碁の四子局のハンディ戦で打ったが、いまは互角まであと一歩の二子局まで迫っている。「とにかく囲碁が好き。囲碁がいきまの彼を支えていると強く感じます」。今年2月、信田六段たちの後押しで東京・市ヶ谷の日本棋院に院生の入会を志願した。院生はアマ五、六段以上の棋力を有する14歳までのプロ志望の子どもたちを受け入れ、競わせて成長する。

「こんなに勝って、上のクラスに行くと、17歳までにはプロになろう」と、井山日、指導を受けるように成さん(井山裕太名)と打

石に溝はめ込んで固定

日本棋院は晴都さんの対局をサポートするため、いくつか手を打った。晴都さんの対局時は視覚障害者の特別仕様の碁盤を用いる。碁盤に目を近づけて手を読むため、通常の碁盤と比べて碁石が崩れてしまう恐れがある。これを避けるため、特別仕様の碁盤は石をただ置くのではなく、凸状の溝に裏が凹状の石をはめ込んで固定する仕組みになっている。全員の人も楽しめるように、表が平面の白石に対し黒石には突起があり、触って黒石と白石を区別する工夫も施している。3月にこの盤で

視覚障害者用 ズレ防ぐ碁盤

晴都さんと試し碁を打った他の院生たちは興味津々で、本番に用いることに異議はなかったという。対局時計は秒読みに入れ、音声で告げるプロ仕様の碁盤を使う。対局することに入れ替わる席も晴都さんのみは定位置で打つことにした。日本視覚障害者囲碁協会の柿島光晴代表理事は、視覚障害者用の碁盤を用いて碁基を築く人は全国に300~400人と推測する。「岩崎さんは私たちが踏み出したことのない道を歩むことになる。後に続く人々のために突き進んでほしい」とエールを送る。

コロナを生きる言葉集

注射されてこんなうれしかったことはないよ。
フランスの地方に暮らすジャン・パリエさん

3月4日、フランス中部のボーヌラランド村に10本の新型コロナウイルス瓶を載せた「接種トラック」が到着し、米ファイザー製ワクチンを

接種後、90歳のパリエさんは「痛くなかった。インフルエenzaワクチンみたいなもの」とほほえんだ。



特集ページ
Twitter
#コロナを生きる言葉集